

(議 題) 第 1 号議案 令和 4 年度(2022) 事業報告

本市並びに日本における 2022 年度の観光は、上半期は昨年に引き続き未だ収束の見えない新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に歯止めがかからず、国外・国内観光客に於いても、2019 年に比べると未だ以前のように戻らず、依然厳しい状況が続いておりました。しかし、下半期に入ってから、全国旅行支援等、国・県・市の政策により少しずつではあるが以前に戻りつつある。訪日・国内観光客についても、入国・渡航の規制緩和により以前の通りとはいかないものの、回復傾向にあります。

また同様に観光業に限らず、日本国内では多くの飲食店など、あらゆる業種が厳しい状況乗り越えて、少しずつではあるが経済の回復が見られるように感じられます。

今後のコロナ禍に於ける観光業は、観光のトレンドが変化しており、マイクロツーリズム、ワーケーション、アウトドア等への関心が非常に高く、オフシーズンや密集しない観光地などへのニーズも高まりつつある。受け入れ側としても、これまで以上に地域全体での魅力向上を図ることが欠かせない考える。

併せて、新型コロナウイルスの影響により中止・延期となっていた「第 19 回いぶすきフラフェスティバル」「第 40 回いぶすき菜の花マラソン」「第 31 回いぶすき菜の花マーチ」も 3 年ぶりに開催され、色々と問題や課題が多く見えたイベントではあったが、開催にあたっては出来る限りの感染拡大防止対策を講じて、参加者や指宿市民のご協力のもと全ての競技が円滑に進み、コロナ禍での大会としては成功裏に閉幕したのではないかとと思われる。今後は、時代に合ったイベントとして、皆様方のご指導、ご協力を賜りながら邁進して参ります。

I 【公益目的事業会計】 (公益目的事業比率 50, 54%)

1・観光客の誘致促進事業

(1) 【観光情報誌等作成事業】

政府の新型コロナウイルス感染症のレベルも引き下げられることを鑑みて、3年ぶりに観光客や滞在客に対する観光の道しるべとしての観光情報誌及び観光マップを発刊し、旅行エージェント訪問や観光PRキャンペーンを行い、ウィズコロナに向けての観光客誘客に取り組んだ。

また、新型コロナウイルス感染症による世界情勢等を踏まえて、ホームページやSNS等での観光情報・指宿の魅力を国内外に旬(リアル)な情報発信に努め、国内外の観光客誘致促進を図った。

◆観光情報の発信

新型コロナウイルス感染症の影響により観光客減少で、今年度に於いてもSNS等 (Instagram/Facebook/Twitter) を活用したPR活動を行った。

◆観光情報誌及び市街地イラストマップの作成

市街地イラストマップ (令和 4 年 6 月/令和 5 年 3 月) 各 30,000 部

観光情報誌「アロハ通信 No. 51 号」(令和 5 年 3 月) 30,000 部

（２）【指宿観光宣伝誘致促進（国内）】

今年度の指宿観光国内セールス事業は、コロナ渦の中ではあるが、観光誘致委員会を活発に開催することで、昨年度に引き続き一早く行動に移し、主要都市の旅行会社やマスコミ等の訪問を中心に情報発信や主要都市に出向き、指宿の観光PRを行うと共に、動画による情報発信や、広告の掲出等も実施した。セールスに関しては、最良のタイミングで実施でき、どの旅行会社も地域の情報を取れていない中、セールス活動は大変有効であった。併せて、福岡天神ソラリアで開催された鹿児島県知事によるトップセールスの「シン・カゴシマ 2023 大物産展」に参加し、指宿の観光PRを行う事で、令和5年5月以降、新型コロナウイルス感染症のレベル引き下げに先立って、鹿児島県全体でPRすることにより、最良の誘致活動が出来たのではないかと考える。

また、こちらから主要都市に出向いて行く事は観光セールスとしては勿論、データだけでは見えない各地域の情報を取りに行く事が重要であると感じた。

今後、アフターコロナを見据えた観光誘致活動は、国内の観光地の地域間競争が予測されると考える事から、観光誘致促進が不可欠であります。今後はSNS等を使ったPRや情報発信はもとより、新型コロナウイルスにより旅行形態が変化していることより、今までとは違った観光素材の発掘やブラッシュアップを行い、いち早く行動に移せるように努めてまいります。

（３）【エージェントとの連携による長期滞在型ツアーの推進】

エージェントと連携した避寒ツアー企画として「あったか鹿児島・指宿温泉」長期滞在の旅を実施し非常に高い評価を得た。今年度も造成していただくようエージェントに働き掛けていきたいと思います。

また、エージェントとの連携において本市及び周辺観光地での魅力が検証できたことにより、時代に合った観光推進やマイクロツーリズムの提案を進め、新しい観光のスタイルを推進した。

併せて、コロナ感染対策を行い安全安心な観光地や景観を活かしたワーケーションを活用した観光の推進やマイクロツーリズムの推進に努めた。

また、エージェント等と連携した事業として、文化庁の「世界唯一の砂むし温泉を利用した薩摩偉人のルーツ創出事業」は指宿の文化と歴史並びに素材を生かしたツアーの造成を行い、アフターコロナを見据えた観光PR素材として生かしていければ考える。

２・受入体制の整備

（１）【広域観光の連携】

①各種広域観光並びに体験事業の推進（南薩地域／大隅／屋久島／錦江湾）

本年度も鹿児島県で取り組んでいるサイクルツーリズムは県内の観光地を巡るコース設定が行われSDGsを取り入れた新たな観光戦略となってきたことから、本市としても密に連携を図り、新たな観光スタイルとしてのサイクルツーリズム推進に努めた。特に池田湖に完成した池田湖PAXも魅力ある資源として生まれ変わり、今後の新たな観光資源として情報発信を行った。

また、「いぶすき広域観光推進協議会」では、南九州市、南大隅町と広域連携を図り、次年度より新たに錦江町も当協議会に加入することから、より一層「山川・根占フェリー航路」の利用促進を図るよう努めた。また、関連事業として取り組んでいる「環錦江湾連絡観光会議」を数回

にわたり開催し、錦江湾を囲む各地域の連携を図った。

受入対策事業としては、菜の花植栽のセレモニーを実施するなど、整備促進に努めると共に観光情報発信に努めた。また新たに傘を活用して、観光地を色とりどりの傘で飾る「アンブレラスカイ」を指宿市と南九州市で行い、ふだんとは違う景色が訪れる人たちの目を楽しませた。

その他、広域的連携事業としては、薩摩・大隅半島を繋ぐ周遊観光促進事業（大隅広域観光開発推進会議との連携事業）連携を図り、「宝探しクエスト in 指宿・南九州・大隅」を行った。

さらには、種子島・屋久島への着地型観光の拠点づくりとして、積極的な観光受入の体制強化を図った。

②体験型観光推進事業

本年度も昨年に引き続き、南薩地域の滞在型観光の推進を目指し、指宿を拠点とした南薩地域への周遊性の高い新しい旅行形態の開発や、ワーケーションと言った新しい旅行形態などに即した、少人数・個人型体験プログラム開発のために広く観光客への周知を図り、誘客を進めた。

このことにより、滞在型観光推進を図りつつ、各種データ、観光客からの意見を集約し、多様化と変化する観光客のニーズに対応すべく体験プログラムメニュー開発に努めた。

〔既存の極上体験プログラム数〕

指宿砂むし温泉／温泉：3 ご当地グルメ：6 グルメ：3 体験：8 合計：20

更に本年度は、文化庁「観光再開・拡大に向けた文化観光コンテンツの充実事業」の採択事業を活用した「文化と自然を楽しむ7つのNATURE WELL-BEING」を開発し、指宿市内を中心に新たな体験事業のブラッシュアップに取り組んだ。

❶「指宿市考古博物館 時遊館 Cocco はしむれ × 指宿橋牟礼川遺跡」

❷「開聞山麓香料園」❸「鹿児島 砂むし温泉 指宿白水館」❹「薩摩伝承館」

❺「イタリアンレストラン フェニーチェ」❻「不動山 青隆寺」❼「有限会社 大山甚七商店」

（２）【海外誘致（インバウンド）対策／観光案内／プラットフォーム事業】

観光案内所整備促進事業

海外からの観光客は新型コロナウイルス感染症の影響で激減しましたが、国による規制緩和などが進む中、少しずつ戻ってきている外国人次第もきめ細やかな接客に取り組み、それぞれの観光客のニーズに合った案内をすることが出来た。本年度は主要都市の国際線ターミナルの開港も始まり徐々に訪日観光客も増えてきており、県や観光連盟などとコロナ収束後の今後の動向を見極めながら誘致対策に取り組みました。また、オンラインを使った海外への観光情報の提供及び、観光コンシェルジュによる案内所のサービス向上に努めるなど、インバウンド対策に係る関連団体（JNTO 等）と連携し、海外誘致の強化・推進に取り組んだ。

その他、JR指宿駅構内にデジタルサイネージを設置したことにより、アフターコロナに向けた国内観光客並びに訪日観光客へのサービス向上を図る事で、旬な情報をいち早く提供することが出来た。

【観光案内所事業】

①指宿市総合観光案内所（J N T O認定）／配置人員数：4人（2名ずつの交代制）

営業時間：9：00～17：00（年中無休）国内旅行業務取扱管理者2名

②砂むし会館「砂楽」内観光案内所／配置人員数：4人（1日2名ずつの交代制）

営業時間：9：00～21：00（年中無休※但し、砂楽メンテナンス時は休館）

③指宿ビジターセンター内観光案内所／配置人員数：7人

営業時間：9：00～17：00（年末29日～3日まで休館）

業務内容：観光情報提供、公共交通機関情報提供、宿泊施設情報提供及び予約サポート、各種クーポン発券、レンタサイクル貸し出し、手荷物預かり及宿泊施設届け情報誌・マップ等の発送、その他観光案内に関する業務

【プラットホーム（山川根占航路含む）整備促進事業】

本年度のプラットホーム整備促進事業は、いぶすき広域観光推進協議会との連携を図り、山川根占航路間の船を使った安定航路確保と流通経済、広域観光を目的とし、南大隅からの支援や自主事業として取り組み、県内を中心とした不特定多数に周知を図った。

「夢たまプロジェクト事業」はJR指宿枕崎線利用促進を図る為の事業として、毎年、列車を活用したツアーの企画・実施を行っている。本年度も鹿児島中央駅を発着として、貸切バスとJRを使って、南薩4市を廻るツアー企画で、62名の参加をいただき、新型コロナの感染予防をしつつ、列車内では今回のこだわりの「川辺牛」を使った弁当の振る舞いや、指宿駅での4市のマルシェを開催するなど、「おもてなし」の心を持って実施することで、参加者に元気を届ける事が出来ました。併せて、沿線上の住民はもとより、各市の住民の方々へ、市民や観光客の足としてのJR指宿枕崎線への関心を持っていただけるよう利用促進を図った。

◆2022年度実績 「大人のごほうび遠足」（イベント列車）の企画実施（参加者62名）

（3）【イベントの取り組み】

国内でも知名度の高い大会として、マラソン・マーチ・フラのイベントは、本市にとって欠かせないイベントになっております。今年度はコロナウイルス感染症の影響を受けながらも感染症対策を十分に行ってリアルな大会を開催しました。しかしながら、それぞれのイベントにおいて、3年ぶりの開催とあって、色々と課題が見えた大会になってしまいましたが、これをきっかけに、時代に即した運営の見直しが出来たのではないかと感じました。令和5年度の大会は、今年度の反省を踏まえて、更に今まで重ねてきた経験を生かして、指宿市民や参加者の皆様へ元気を届けられるように進めてまいります。

併せて、いぶすきの秋の風物詩として定着し、当協会が携わっております指宿温泉祭も湯之権現祭や花火大会の開催に際しても、建設が進む指宿港海岸を中心に開催し、指宿市民に元気を届ける事が出来ました。

最後に、各種イベントが本市の地域振興にとって必要と改めて肌で感じる事が出来た事を生かして、今後はイベントを通じて指宿市の魅力等も発信して行けるように取り組んでまいります。

- ・第19回 いぶすきフラフェスティバル【2022年8月27日（土）～28日（日）】
- ・第40回 いぶすき菜の花マラソン大会【2023年1月8日（日）】
- ・第31回 いぶすき菜の花マーチ【2023年1月20日（金）～22日（日）】

（４）【地域内の環境美化に対する助成事業】

「地域内の観光美化に対する助成」は、指宿の玄関口ともいえる指宿駅に乗降する観光客、市民のために、駅構内、駅トイレ、駅周辺の美化清掃に努め、清掃員を雇用する等の事業を行う「駅を明るくする会／事務局：ＪＲ指宿駅」や、年２回クリーン指宿を制定し、市民に呼びかけ、指宿市内の清掃美化に努めた。

また、様々な活動等に対し、助成金を拠出し、指宿市の美化活動の協力を努めた。

その他、指宿駅前の「足湯」の清掃活動を各種団体が当番月を設定しており、本年度の指宿市観光協会は10月が担当月である事より、職員全員で指宿駅前の美化活動に取り組んだ。

（５）【地区別宿泊統計事業】

本市の大手宿泊施設13社を対象に月別の地区別宿泊客統計を取りまとめ、統計として閲覧できるようにすると共に、各種キャンペーン等の際に基礎データとして使用し誘客を図り、南薩地域振興局とも連携を取り、最近の観光に関する意識の分析など、今後の観光戦略を繋げた。

「地区別宿泊統計」は、当観光協会自主事業で、市内に点在する宿泊施設約50事業所のうち、主要なホテル、旅館等13社から毎月の情報が提供され、地域の観光動向として取り纏めを行っている。本年度もこの調査結果については、毎月理事会で直近月の数字を報告。定期総会では総会資料に年間対比及び年度内の月毎の数字を掲載し、要望があれば、当観光協会事務局にも総会資料を据え置いているので、会員・非会員問わず閲覧ができ、当観光協会ホームページ上にも公開しているので、不特定多数が見ることができるように努めた。

その他、新型コロナウイルスの影響により観光客の減少を止める為の施策として、指宿市が補助事業として「いぶすき直割キャンペーン」を実施し、当協会は事務局として本事業を受託して、誘客推進に努めた。

Ⅱ【収益事業会計】（事業比率 21, 61%）

1【財政の健全化に伴う事業運営のスリム化】

本年度も当観光協会の財源については公益事業を支えるための収益事業として、指宿駅構内や砂楽内の土産品販売「ふるさとショップ売店」や指宿駅構内案内所でのレンタル電動アシスト自転車、手荷物送り等の有料サービスによる収入確保に努めてまいりました。

また、一般客はもとより、エージェントと連携して「いぶすき極上体験プログラム」を、お得感を感じて楽しめるチケットとして販売促進を図り、自主財源の確保を進めてまいりました。

その他、ポケモンマンホールグッズの販売を開始し、新たな収益事業として取り組むことで、収益だけではない観光客の新たなツールとして提供できたことは公益性の高い事業であると感じることが出来た。

今後も当観光協会の財政の健全化を図る為に、あらゆる可能性の構築を行ってまいります。

◆指宿市総合観光案内所【クーポン等発券事業】年間収入：774,569円

鹿児島県知事登録 国内旅行業 第 地域-71 号

◆ふるさとショップ【土産品販売事業】

指宿駅 年間収入：6,340,492円 ／ 砂 楽 年間収入：7,874,213円

Ⅲ【その他事業会計】（事業比率 7, 69%）

1【公園管理業務（指宿市指定管理事業）】

「セントラルパーク指宿」の指宿市指定管理者として、新型コロナウイルス感染症の影響により公園を定期的に利用されるグラウンドゴルフ愛好者が感染予防の為、使用を控える傾向にあったが、令和4年度に入ってグラウンドゴルフ愛好者が使用する頻度が多くなった。また、休日になると家族連れや子供が公園内でくつろぐ風景が見られ公園としての機能を十分に果たせたと感じます。特に東京オリンピック開催以降、スケートボード人気に拍車がかかり、大勢の学生や社会人の公園使用が見られた事から、今後も使用しやすい観光整備に努めます。

併せて、例年メイン会場として使われている第75回記念の指宿温泉祭も3年ぶりの本格開催となり、規模を縮小しての開催とはなったが、湯之権現祭・ハンヤ踊りやステージイベント及び記念花火大会を開催し、指宿市民に元気を届ける事が出来た。

今後も、観光客にはビジターセンターとして、地元市民には公園でくつろぐ機能、温泉祭等のイベントによる会場活用を複合的に持った公園・管理棟としての運営になるよう進めてまいります。

Ⅳ【法人会計】（事業比率 20, 16%）

1【法人会計・組織】

協会役員（理事・監事・顧問）による理事会開催回数の方法を見直し、専門委員会の活動強化を行い、会員への情報発信、県・市等の関係団体との連携により円滑な事業運営を図ってまいりました。

また、理事並びに職員を各自適正部署に配置して、受け入体制の構築を行い、組織としての充実を図りました。

併せて、南薩4市で情報の共有を行い、県も含めて協力体制を構築できたと考えます。

Ⅴ【その他】

最後に、令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症レベルが引き下げられ、訪日・国内の観光客についても活発な移動が考えられることより、国内外の情勢を注視しながら、市民一体となった街の活性化に取り組み、今後、世界情勢などを見極めながら速やかに行動が出来るよう計画し、これまで以上に関係団体や会員の皆様方のご理解、ご協力を仰ぎながら観光地「いぶすき」の発展の為に邁進していきたいと考えております。

また、各種イベントに関しましても時代に合ったスタイルで参加者の心に残るようなイベントになるように指宿を盛り上げていきたいと思います。